

YAMADA

保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

ACリビング扇風機	品番 YFA-R82G2
★お客様お名前 様	
★ご住所 〒	★電話番号 () -
保証期間 ★お買上げ日 年 月 日から 本体…………… 1年間 (ただし、付属品を除く)	★取扱販売店名、住所、電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 消耗部品の交換 仕様変更 } 等
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダ電機「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、18ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

株式会社ヤマダ電機

【お客様相談室】 TEL 0120-258-260（無料）

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号

受付時間：午前10時～午後9時（元日のみ休日）

Y11

取扱説明書

ACリビング扇風機

品番 YFA-R82G2

YAMADA

一般家庭用

(業務用としては使用しないでください)

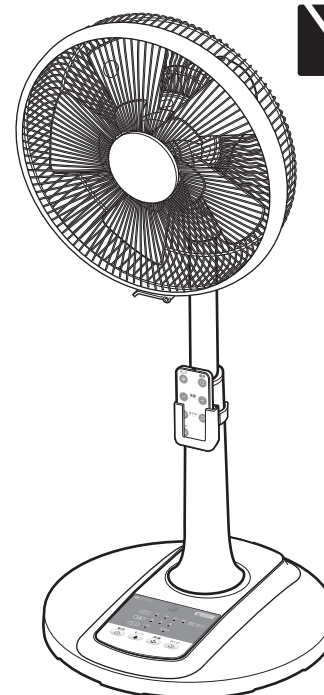
保証書付（裏表紙）

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
特に1～4ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。

- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



YAMADA SELECT

取扱説明書（保証書付）・本体には商品の色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（ ）内の記号が色記号です。

もくじ

ページ

お使いになる前に

安全上のご注意 …… 1～4

各部のなまえ …… 5

リモコンについて …… 6

組み立てかた …… 7～8

使いかた

使いかた …… 9～13

- 運転を開始／停止する …… 9
- 風量を調節する …… 10
- モードを選択する(リズム／おやすみ) …… 10
- 首振り運転を開始／停止する …… 10
- タイマーの設定をする …… 11～12
- 表示部の明るさをリモコンで調節する …… 12
- 風向きを調節する …… 13
- 高さを調節する …… 13

長くご愛用いただくために

お手入れと収納のしかた …… 14～15

故障かな？と思ったら …… 16

仕様 …… 17

長期使用製品安全表示制度に基づく
本体表示について …… 17

愛情点検 …… 18

修理サービスについて …… 18

保証書 …… 裏表紙

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

 〇は、してはいけない「禁止」の内容です。	 一般的な禁止  分解禁止  接触禁止
 ！は、必ず実行していただく「強制」の内容です。	 水場での使用・保管禁止  水ぬれ禁止  ぬれ手禁止
	 必ず行う  電源プラグを抜く

 警告

 電源コードや電源プラグは乱暴に取り扱わない 電源コード、または電源プラグを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、束ねて使用する、などをしてはいけません。 感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店、または株式会社ヤマダ電機「お客様相談室」にご相談ください。	 電源コード・電源プラグが傷んだり、熱くなったときやコンセントのさし込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。
 羽根・ガードを付けずに運転しない けがの原因となります。	 本製品専用の部品、リモコン以外使用しない やけど・けが・故障の原因となります。
 持ち運び時、収納時に電源コードを引っ張ったり・引きずらない 電源コードが断線してショート・感電・火災の原因となります。	 組み立てる前にスタンドを立てたり、電源プラグをさし込んだりしない 不安定なため転倒し、ショート・感電・けがの原因となります。
 発熱器具の近くに置かない 樹脂部分が溶けて発煙・発火・火災の原因となります。	 ガードやすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない 感電・けが・故障・破損の原因となります。

 警告

 子供や不慣れなただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない 感電・やけど・けがの原因となります。	 電源コードにベースや重たいものをのせない 電源コードが断線してショート・感電・火災の原因となります。
 入タイマー設定中は、羽根・ガードに触らない けがの原因となります。	 ベースを付けずに運転しない けがの原因となります。
 羽根・ガードを付けずに高さ調節ボタンを押さない モーター部やスライドパイプが飛び出してけがの原因となります。	 接触禁止 ガードの中や可動部へ指などを入れない 重大なけがをする原因となります。とくに子供には注意してください。
 絶対に改造、分解をしない 改造はしない。また、修理技術者以外の人、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店、または株式会社ヤマダ電機「お客様相談室」にご相談ください。	 水場での使用・保管禁止 浴室など高温多湿の場所や水のかかる場所では使用しない、保管しない 絶縁劣化による感電・漏電火災・事故の原因となります。
 水ぬれ禁止 本体やリモコンに水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない 感電・ショート・発火・故障の原因となります。	 ぬれ手禁止 ぬれた手で本体を操作したり、電源プラグを抜きさししない ショート・感電・けがの原因となります。
 電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。	 電源プラグは清潔にする 電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。 発煙・発火・火災の原因となります。
 電源は交流100Vのコンセントを単独で使用する 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。	 包装用ポリ袋は子供の手の届かない場所に保管する 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因となります。

お使いになる前に

お使いになる前に

警告

-  リチウム電池の取り扱いについて

 - 指定以外のリチウム電池を使用しない。
(指定リチウム電池: CR2025)
 - 極性(⊕と⊖)を間違えない。
 - 損傷(変形・傷)や異物が付着したり、「使用推奨期間」を過ぎたリチウム電池は使用しない。
 - 充電・分解・ショート・加熱したり、火の中に入れたりしない。
使いかたを誤ると発熱や破裂したり、けが・やけど・感電の原因となります。
 - リチウム電池は子供の手の届くところに置いたり、子供のそばで電池交換はしない。
誤飲の原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
-  異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く

使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。

＜異常・故障例＞

 - 本体が変形したり、異常に熱い。
 - 電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。
 - 電源コードの一部・電源プラグ・モーター部・操作部がいつもより熱い。
 - 電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
 - 異常なおいや音、振動がする。
 - ビリビリと電気を感じる。

※お買上げの販売店、または株式会社ヤマダ電機「お客様相談室」に点検、修理を依頼してください。

 組み立て、お手入れ、持ち運び、収納の際は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

 プラグを抜く 不意に動作してけがをしたり、感電・発火・火災・故障の原因となります。

注意

-  羽根に貼ってあるラベルは絶対にはがさない

事故防止のために法律で定められた表示です。
-  風を長時間、体に当てない

健康を害することがあります。特に、子供やお年寄り、ご病気の方にはご注意ください。脱水症状をおこす原因となります。
-  掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない

変質・破損などによりけがや事故の原因となります。
-  組み立てた状態では輸送しない

輸送するときは、箱に収納してください。破損の原因となります。
-  お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

製品の変質や劣化による故障や破損、けがや事故の原因となる場合があります。お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。

※洗剤の種類によっては、台所用中性洗剤でもプラスチック(樹脂)に使用できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認ください。プラスチック(樹脂)に使用可能な洗剤でも、洗剤分が残っていると、化学作用によりプラスチック(樹脂)を侵し、破損してけがや事故の原因となる場合がありますので、お手入れ後洗剤分が残らないようしっかり拭き取ってください。

注意

-  業務用として使用しない

本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないでください。
-  スライドパイプを縮めたままお手入れをしない

誤って高さ調節ボタンを押すと、モーター部が飛び出して、けがをするおそれがあります。
-  ガードに髪や衣類などを近づけない

髪などが巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
-  破損した羽根・ガードは使わない

けがの原因となります。
-  テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わない

電波障害の原因となります。
-  スライドパイプに油などを付けない

伸縮部分が急にスライドするなどしてけがの原因となります。
-  本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する

羽根やガードが外れたり、落下によりけがをする原因となります。
-  電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買上げの販売店、または株式会社ヤマダ電機「お客様相談室」にご相談ください。
-  使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

 プラグを抜く けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。
-  次の場所では使わない

 - 綿ぼこり・砂ぼこり・金属粉の多いところ
 - 火気の近く
 - 雨や水しぶきのかかる場所
 - 高温(40℃以上)、多湿(80%以上)になる場所
 - 低温(5℃以下)になる場所
 - キッチンや工場などの油・油煙が発生する場所
 - 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものがある場所
 - 直射日光など、強い紫外線のあたる場所
 - 油や薬品を使うところ

感電やショート、火災や爆発のおそれがあります。また、事故や故障の原因となります。
-  カーテンなどの障害物の周辺や不安定な場所では使用しない

不安定な場所や首振りなどをさまたげる障害物があると転倒し、羽根破損・けがの原因となります。
-  運転停止直後はモーター軸が熱くなっているので、お手入れをしたり直接接触ったりしない

接触禁止
-  コンセントの周りは清潔にする

絶縁劣化による感電・漏電火災・けがの原因となります。
-  市販の保護ネットを取り付けるときは、たるみがないようにする

市販の保護ネットは、たるみがあるとガードに吸い込まれ、羽根の破損・けがの原因となります。
-  電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く

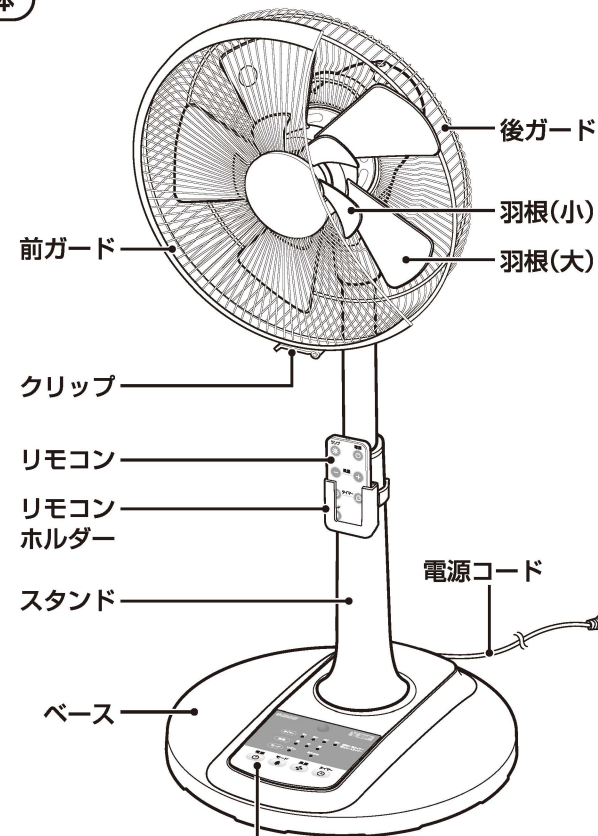
 プラグを抜く 感電・ショート・発火・火災の原因となります。

お使いになる前に

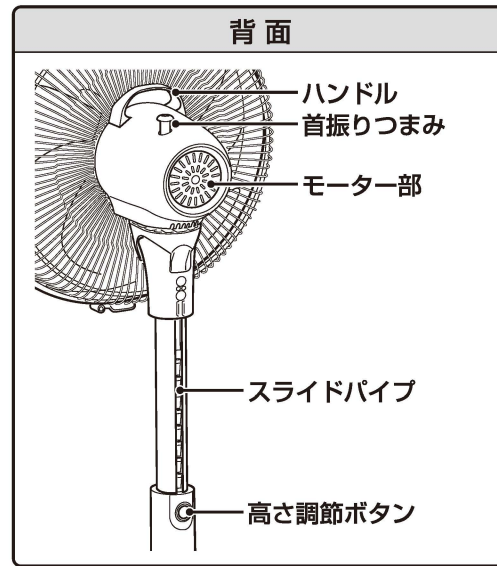
お使いになる前に

各部のなまえ

本体



背面

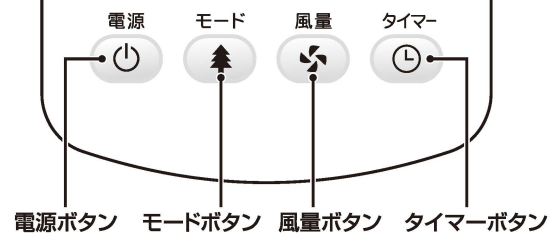
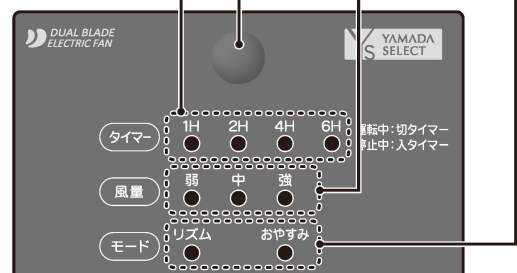


電源プラグ

交流100Vのコンセントをご使用ください。
使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

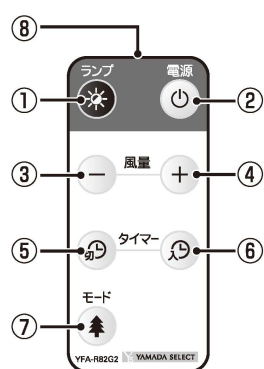
操作部

タイマーランプ 受信部 風量ランプ モードランプ



※表示部／ランプは説明のため、すべて点灯させてあります。

リモコン



リチウム電池 (CR2025)
(付属品：動作確認用)

- ① ランプボタン
- ② 電源ボタン
- ③ 風量(-)ボタン
- ④ 風量(+)ボタン
- ⑤ 切タイマーボタン
- ⑥ 入タイマーボタン
- ⑦ モードボタン
- ⑧ 送信部

リモコンについて

リモコンのご使用の前に

リモコンのシートを引き抜いてください。

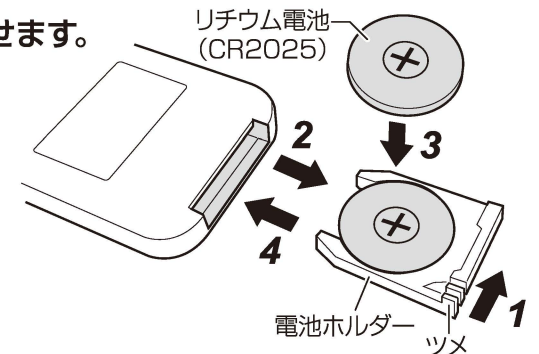
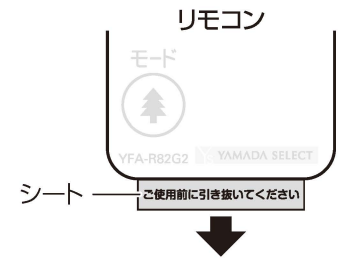
- 付属の電池は動作確認用のため、寿命が短い場合があります。
- ※ 操作しにくくなった場合は、電池を交換してください。

リチウム電池の入れかた／交換のしかた

- 1 電池ホルダーのツメを矢印の方向へ移動させます。
- 2 電池ホルダーを引き出します。
- 3 電池の極性⊕側を必ず上側にしてから、電池ホルダーに設置します。
- 4 電池ホルダーをはめ込みます。

お願い

- 交換用リチウム電池は、CR2025をお買い求めください。
- 長期間リモコンを使わないときは、リモコンからリチウム電池を取り出してください。(液漏れの原因となります。)
- 「使用推奨期間」を過ぎたり、使い切ったリチウム電池はリモコンに入れたままにしないでください。
- 使用済みの電池はお住まいの地域の分別方法に従って捨ててください。(捨てる際にはセロハンテープなどを巻きつけて絶縁してください)



警告



禁止

電池やリモコンは子供の手の届かないところに置く
万一、飲み込んだ場合は、直に医師にご相談ください。また、子供がリモコンから電池を取り出さないようにご注意ください。

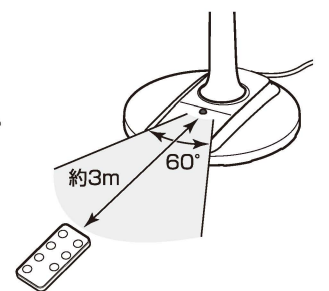
リモコンの操作について

リモコンの送信部を本体の受信部に向けて操作します。

- リモコンで操作できる範囲は、受信部正面で約 3 m、左右に約 60° 以内です。
- 受信部に対し斜めになるほど操作できる距離は短くなります。
- 電池が消耗して動作しにくになったら、新しい電池に交換してください。
- ボタンの操作は中央部を押してください。端を押したり、つめの先で押したりすると操作できないことがあります。

お願い

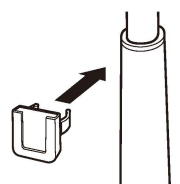
- 受信部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。
- 受信部を隠さないでください。障害物があるとリモコンによる操作ができなくなります。
- 扇風機に触れているときは、リモコンを操作しないでください。
- リモコンを落とさない、踏まない。故障の原因となります。



リモコンホルダーの取り付けかた

スタンドの上部から軽くさし込みます。

リモコンを使用しないときは、紛失を防止するためにリモコンホルダーに収納してください。



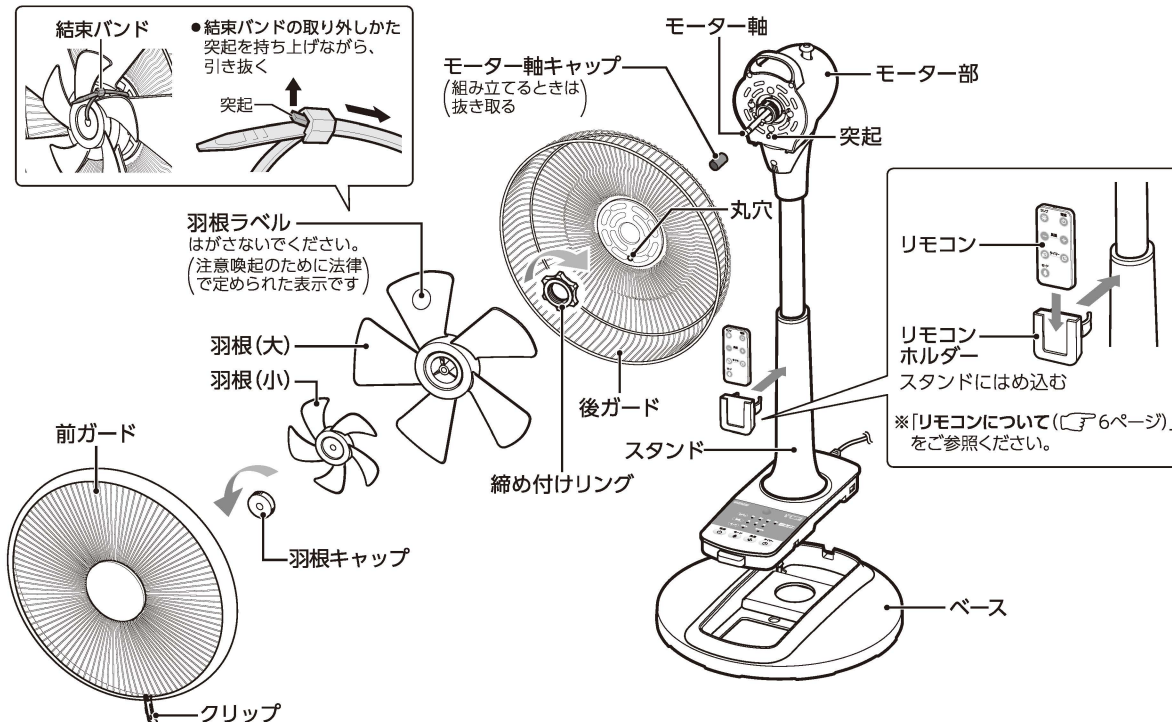
ご注意

- リモコンホルダーを無理に下げたり、下からさし込んだりしないでください。破損するおそれがあります。

組み立てかた

ご注意

- 本製品が入っていた梱包箱・包装部品やモーター軸のキャップは、収納時に必要です。なくさないようご注意ください。
- 組み立てるときは、各部のすき間や可動部に指や手をはさまないように注意してください。
- 羽根・ガードを取り付けしないで高さ調節ボタンを押さないでください。モーター部が飛び出して、けがをする原因となります。
- 組み立てるとき・お手入れをするとき・持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・けがの原因となります。

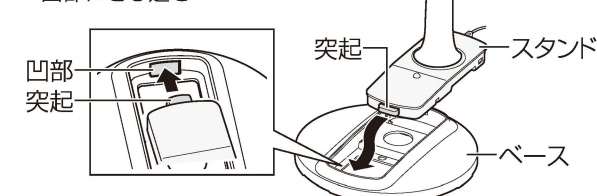


1 スタンドをベースに取り付ける

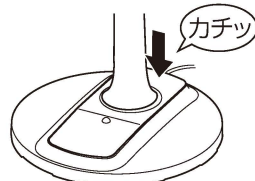
- ① 固定リングを「」の方向に回し、取り外す



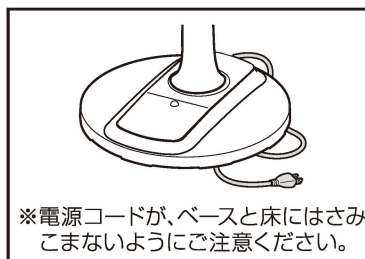
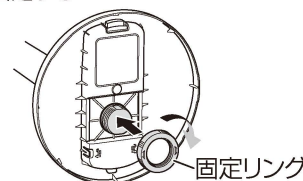
- ② スタンド前面の突起をベースの凹部にさし込む



- ③ スタンド後部をベースに「カチッ」と音がするまで確実ににはめ込む

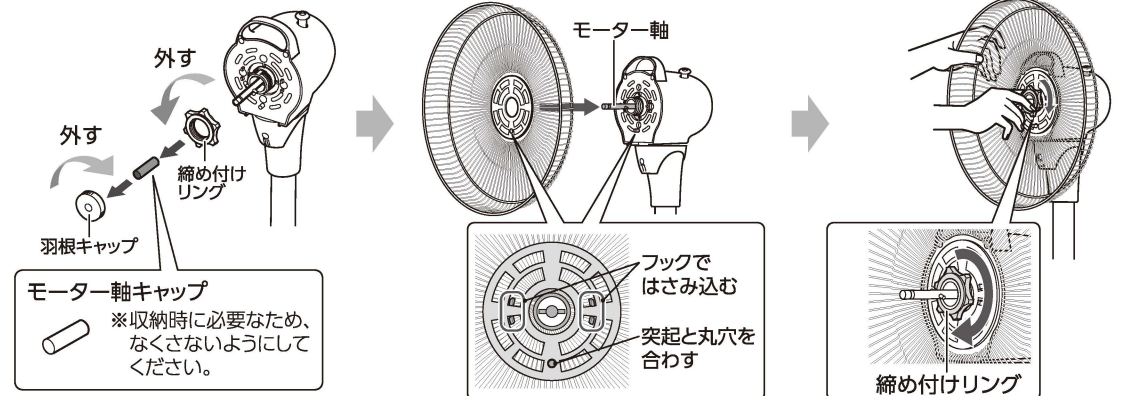


- ④ 固定リングを「」の方向に回し、スタンドとベースを確実に固定する



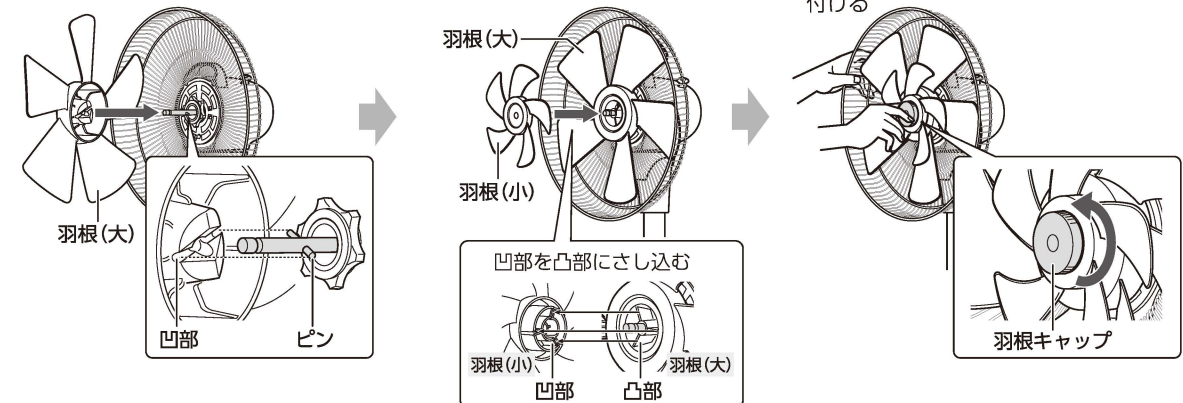
2 後ガードを取り付ける

- ① 羽根キャップ、締め付けリング、モーター軸キャップを取り外す
- ② 後ガードの丸穴とモーター部の突起を合わせ、フック(2カ所)ではさみ込む
- ③ 締め付けリングを「」の方向に回し、しっかり締め付ける



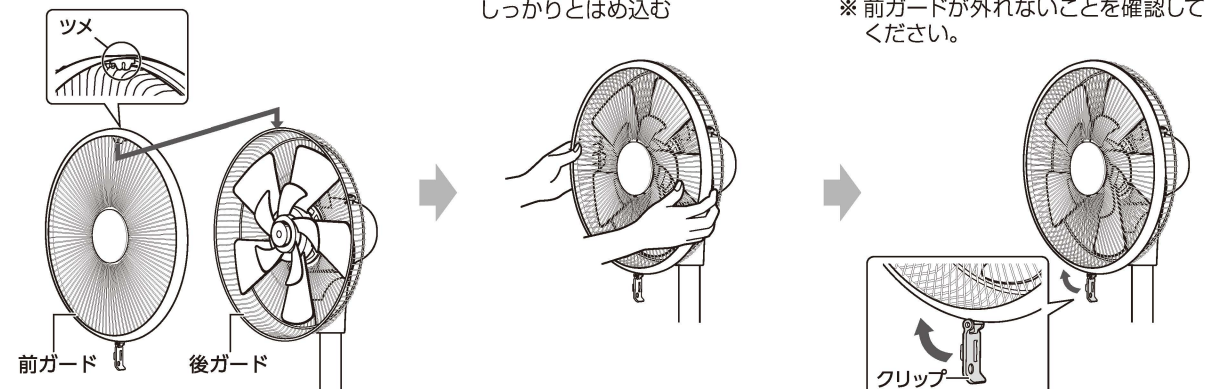
3 羽根を取り付ける

- ① モーター軸のピンに羽根(大)の凹部を合わせてさし込む
- ② 羽根(小)を羽根(大)に取り付ける
- ③ 羽根を押さえながら、羽根キャップを「」の方向に回して確実に締め付ける



4 前ガードを取り付ける

- ① 前ガードのツメを、後ガードに合わせはめ込む
- ② 前ガードを後ガードに合わせ、両手で前後ガードの全周をしっかりとめ込む
- ③ クリップを「カチッ」と音がするまで押し込む
※前ガードが外れないことを確認してください。



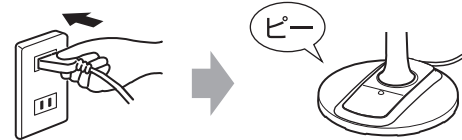
運転の前に

ご注意

- 電源コードの結束バンドは必ず外してください。
- 電源は交流100Vのコンセントを単独で使い、電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込んでください。
- 運転中に停電したり、電源プラグを抜いた場合は、電源「切」の状態になりますので、始めから操作をやり直してください。
- 通電中は操作パネルの一部があたたかくなりますが、マイコンなどの消費電力によるもので故障ではありません。そのまま続けてご使用ください。
- 本製品を不安定なところに設置しないでください。

電源プラグをコンセントにさし込む

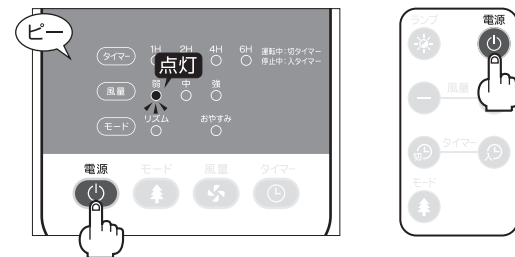
- “ピー”と音が鳴り、運転待機状態になります。



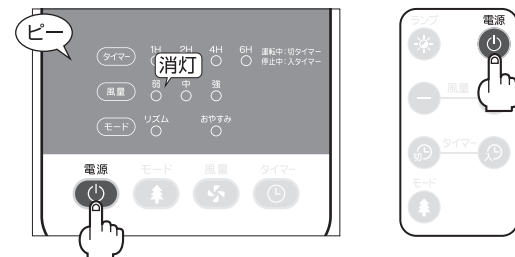
- 本体の操作部とリモコンのどちらでも操作ができます。

運転を開始／停止する

- 運転停止中に「電源ボタン」を押すと、“ピー”と音が鳴り、風量「弱」で運転を開始します。風量ランプ（弱）が点灯します。



- 運転中に「電源ボタン」を押すと、“ピー”と音が鳴り、運転を停止します。風量ランプ（弱）が消灯します。



※本製品は、24時間無操作状態で運転すると自動で運転を停止します。

メモリー機能について

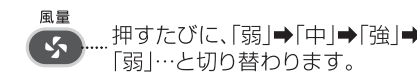
運転停止中に、電源ボタンを押すと、前回ご使用の運転状態（風量・首振り）で運転します。
 ※モード・タイマー時間・表示部の明るさは記憶されません。
 ※電源プラグを抜くと、メモリー機能は解除されます。

風量を調節する

- 「風量ボタン」を押すたびに、“ピー”と音が鳴り、風量が切り替わります。

選択した風量の風量ランプが点灯します。

操作部で調節する場合



リモコンで調節する場合



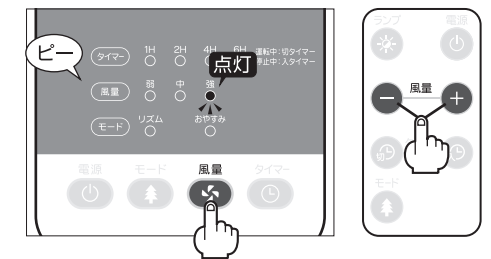
風量の切り替わりについて

風量ボタンを押すたびに、次の3段階で順に切り替わります。



- 弱…… 風量弱の強さで羽根が回転します。
- 中…… 風量中の強さで羽根が回転します。
- 強…… 風量強の強さで羽根が回転します。

※風量「強」を選択した場合



モードを選択する（リズム／おやすみ）

- 「モードボタン」を押すと“ピー”と音が鳴り、モードが切り替わります。

設定されたモードランプが点灯します。

モードボタンを押すたびに、モードランプが「リズム」→「おやすみ」→「消灯（連続）」→「リズム」…と切り替わります。

リズムモード

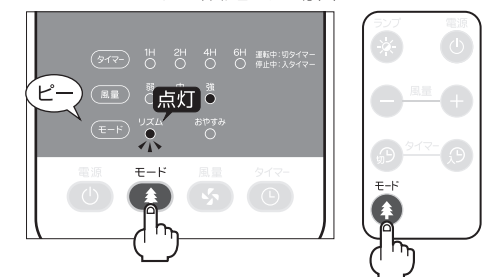
風量に変化をつけたリズムカルな風で運転します。
 ※風量「弱」以外でご使用ください。

おやすみモード

現在設定されている状態で30分間運転し、30分経過するたびに風量を1段階下げて運転します。風量が「弱」になると、風量「弱」の状態での運転を継続します。

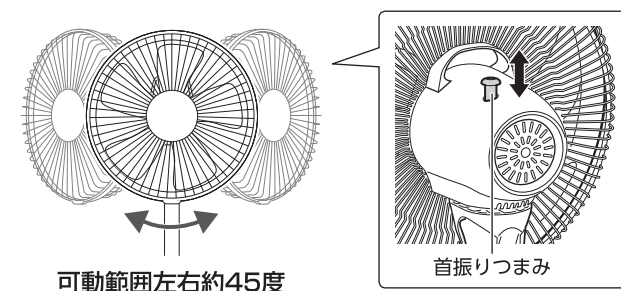


※リズムモードに設定した場合



首振り運転を開始／停止する

- 首振り運転を開始するときは、「首振りつまみ」を押し込んでください。
- 首振り運転を停止するときは、「首振りつまみ」を引き上げてください。



タイマーの設定をする

設定した時間後に自動で運転を開始「入タイマー」／停止「切タイマー」します。

お知らせ

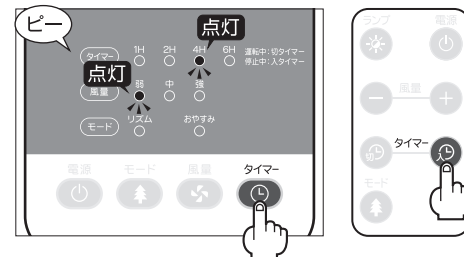
- 「入タイマー」は、運転停止中に設定できます。
- 「切タイマー」は、運転中に設定できます。
- 入タイマー設定時間／切タイマー設定時間は目安です。
- 「入タイマー」を設定したあとに「電源ボタン」を押すと、入タイマー設定が解除され、運転を開始します。
- 入タイマー／切タイマーを設定後、停電したり、電源プラグを抜いた場合は設定が解除されます。始めから設定をやり直してください。

「入タイマー」設定

1 運転停止中に「タイマーボタン」を押し、運転開始までの時間を設定する

- “ピー”と音が鳴り、タイマーランプ(1H)と風量ランプ(弱)、が点灯します。
- 押すたびに、「1H→2H→4H→6H→消灯(入タイマー解除)→1H…」と、設定時間が切り替わります。
- 入タイマー設定を解除するときは、タイマーランプが消灯するまで順に押してください。

※入タイマーを「4時間」に設定した場合



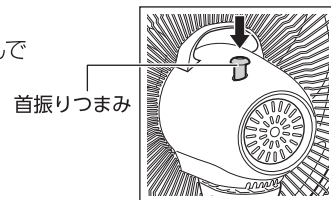
タイマーランプについて

- 入タイマーは、運転開始までの時間を1時間、2時間、4時間、6時間の4段階で設定できます。入タイマーボタンを押すたびに、タイマーランプが次のように切り替わります。

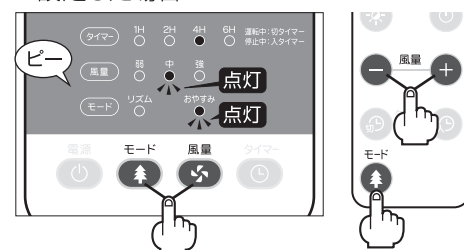


入タイマー設定中に、「風量ボタン」／「モードボタン」を押すと、「ピー」と音が鳴り、それぞれの運転を予約できます。

- 首振り運転をする場合は、「首振りつまみ」を押し込んでください。

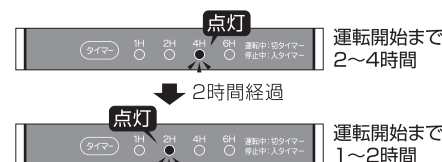


※入タイマーを「4時間」に設定した場合



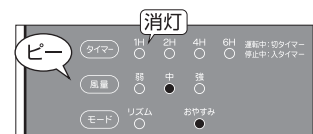
2 運転時間の経過とともに、時間表示が切り替わり、残り時間の目安を表示する

- タイマーランプは、「6H→4H→2H→1H→消灯(運転開始)」と順に切り替わります。



3 設定時間が経過すると“ピー”と音が鳴り、運転を開始する

- タイマーランプが消灯します。

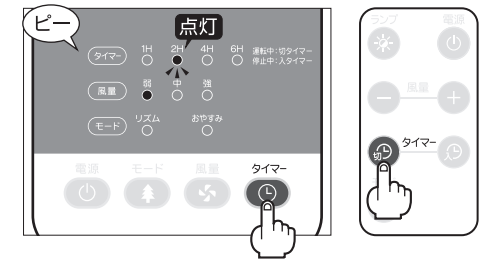


「切タイマー」設定

1 運転中に「タイマーボタン」を押し、運転停止までの時間を設定する

- “ピー”と音が鳴り、タイマーランプ(1H)が点灯します。
- 押すたびに、「1H→2H→4H→6H→消灯(切タイマー解除)→1H…」と、設定時間が切り替わります。
- 切タイマー設定を解除するときは、タイマーランプが消灯するまで順に押してください。

※切タイマーを「2時間」に設定した場合



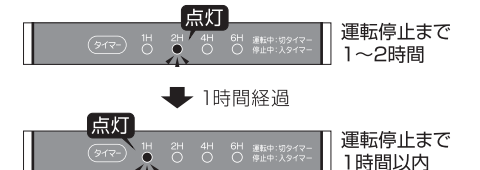
タイマーランプについて

- 切タイマーは、運転停止までの時間を1時間、2時間、4時間、6時間の4段階で設定できます。切タイマーボタンを押すたびに、タイマーランプが次のように切り替わります。



2 運転時間の経過とともに、時間表示が切り替わり、残り時間の目安を表示する

- タイマーランプは、「6H→4H→2H→1H→消灯(運転停止)」と順に切り替わります。



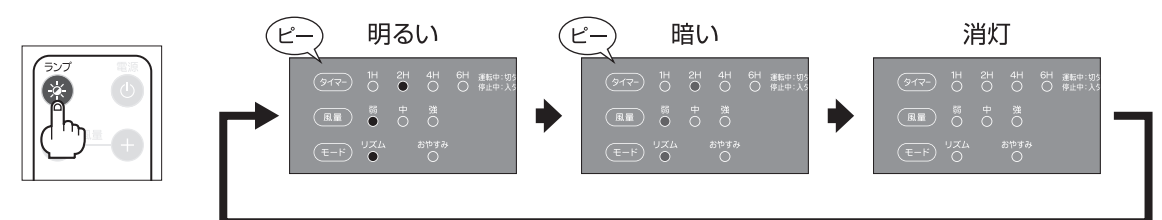
3 設定時間が経過すると“ピー”と音が鳴り、運転を停止する

- すべてのランプが消灯します。



ランプの明るさをリモコンで調節する

- 運転中、または入タイマー設定中にリモコンの「ランプボタン」を押すと、表示部の明るさを3段階で調節できます。ランプボタンを押すたびに、明るさが切り替わります。※入タイマー設定中にランプの明るさを変更した場合、設定した明るさで運転を開始します。



- ※消灯時は、消音モード(ピー音がしない状態)に切り替わります。
- ※消灯時にボタン操作すると、ランプ「明るい」に戻ります。
- ※消灯時に運転停止するときは、電源ボタンを2回押してください。

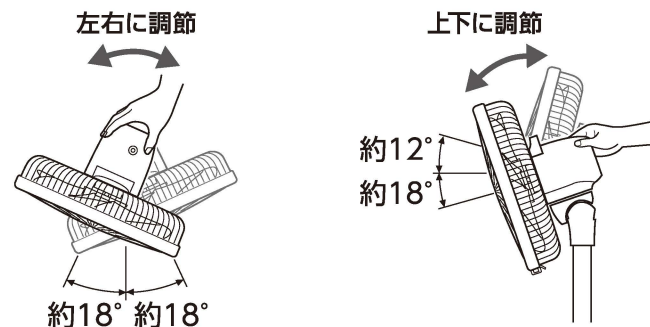
使いかた

ご注意

- 風向きや高さを調節するときは、各部のすき間や可動部に指や手をはさまないように注意してください。
- 調節可動範囲（左右・上下調節範囲）を超えて無理に動かさないでください。首振り用モーターが故障する原因となります。
- 風向きや高さを調節するときは、運転を停止し、羽根が完全に止まってから行ってください。
- 本製品を持ち運ぶときは、スライドパイプを一番したに押し下げ、必ずハンドルを持って持ち運んでください。

風向きを調節する

- ベースを軽く押さえ、モーター部を上下・左右に動かしてください。

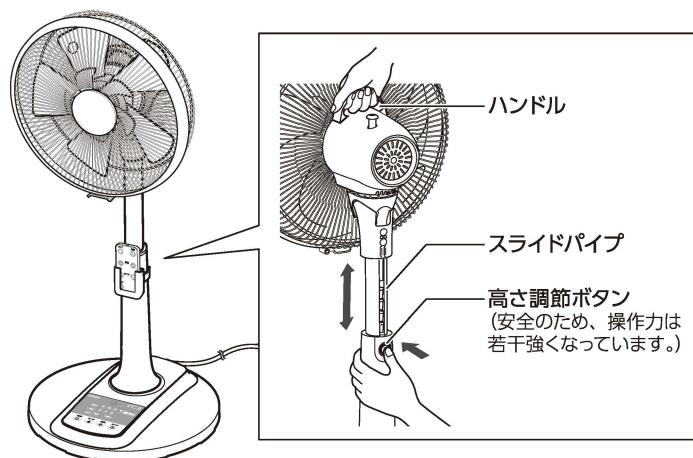


ご注意

- 運転中にガードを持って風向きを変えないでください。
- 首振り運転中に無理にガードを動かしたり、固定したり、首振り動作を妨げたりしないでください。

高さを調節する

- 高さ調節ボタンを押しながら、ハンドルを持って調節してください。（下げるときは、上から押さえると下がります。）



ご注意

- 調節時は可動部に指をはさまないように気を付けてください。
- 羽根・ガードを取り付けないで高さ調節ボタンを押さないでください。モーター部が飛び出して、けがをする原因となります。

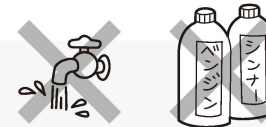
お手入れと収納のしかた

15 ページへつづく

お手入れのしかた

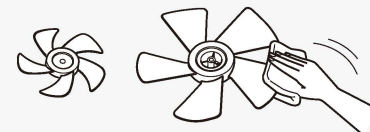
- 羽根やモーター部にホコリが多量に付着すると、異常音・振動・モーターの過熱の原因となります。
- 定期的にガードや羽根を取り外し、お手入れを行ってください。
- お手入れをするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

羽根・本体



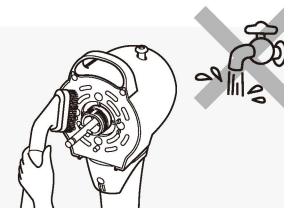
- 水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、ぬるま湯または水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭き取ってください。

※シンナー・ベンジン・漂白剤・研磨剤入り洗剤などは使わないでください。



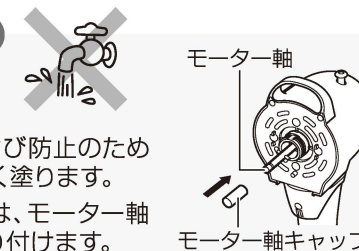
モーター部

- ホコリを掃除機で吸い取ってください。



モーター軸

- 汚れを取り、さび防止のためミシン油を薄く塗ります。
- 収納するときは、モーター軸キャップを取り付けます。



ご注意

- 高さ調節のスライドパイプを縮めたままお手入れをしないでください。
- 運転停止後は、モーター軸が熱くなっています。取り外しやお手入れは、30分程度待ってモーター部が冷えてから行ってください。

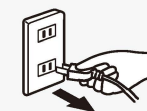
収納のしかた

収納の前には

- 1 首振り運転を行い、ガードを正面に向ける



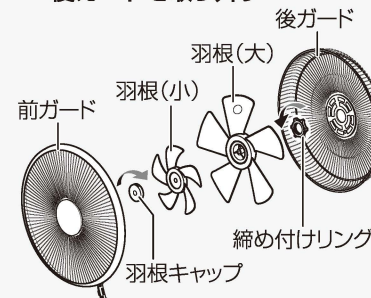
- 2 運転を停止し、電源プラグを抜く



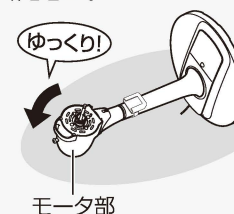
分解のしかた

組み立てかたと反対の手順で分解してください。（P7ページ参照）

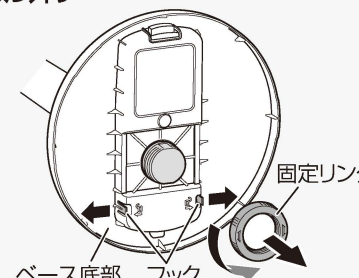
- 1 前ガード、羽根（小・大）、後ガードを取り外す



- 2 リモコンを取り外し、モーター部を持ち、ゆっくりと本体を寝かせる
※スライドパイプは下に下げてください。



- 3 ベース底部の固定リングを取り外し、本体後部のフック（2カ所）をベースから取り外す



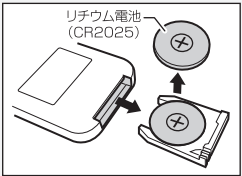
長くご愛用いただくために

お手入れと収納のしかた

- 各部品を取り外したあとに、下記に従って収納してください。
- 収納後は、湿気の少ないところに保管してください。

リモコン

リモコンから、リチウム電池を取り出す（ 6ページ参照）

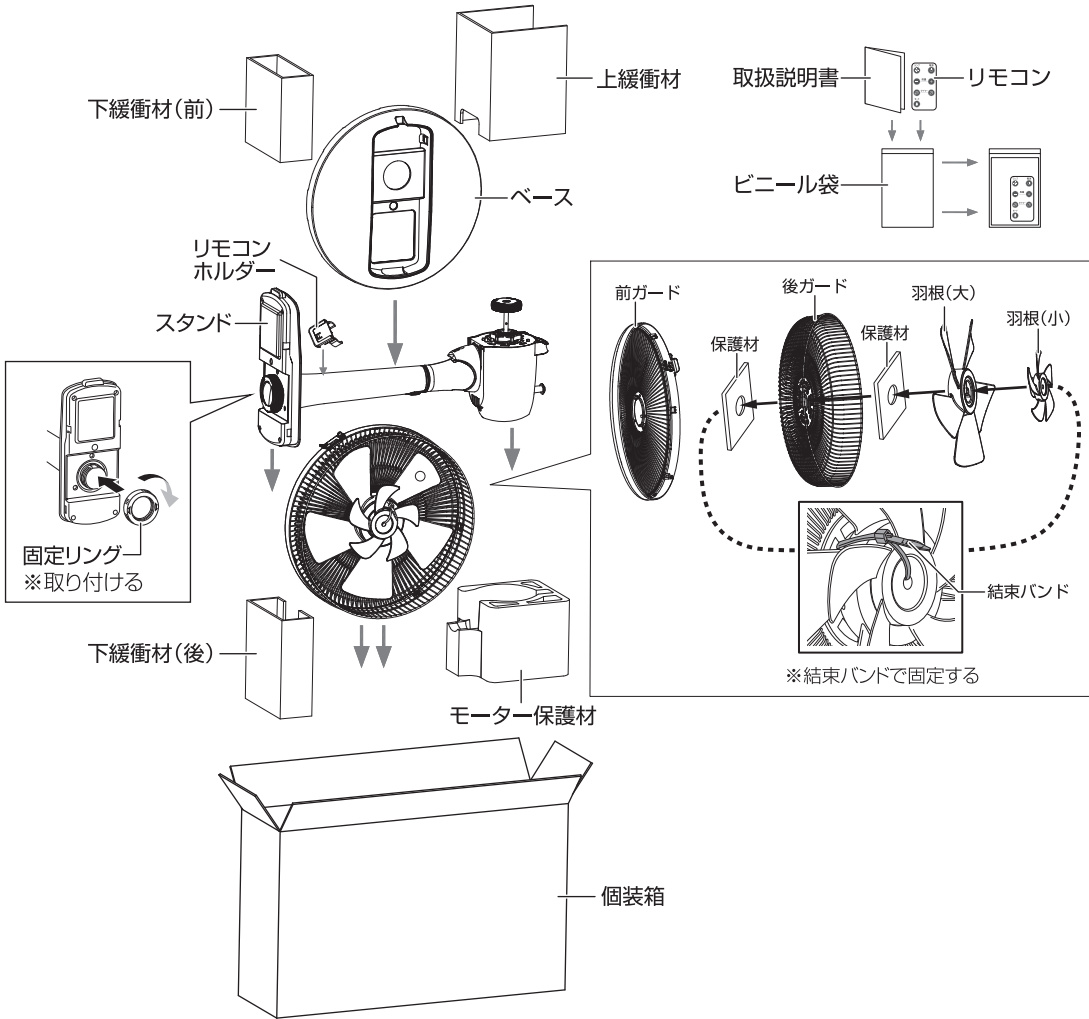


ご注意

- リチウム電池はリモコンから必ず取り出してください。リチウム電池の液漏れや電池の寿命が短くなる原因となります。
- リチウム電池は子供の手の届くところに置かないでください。

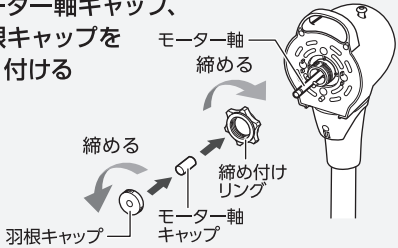
個装箱への収納

下の図を参考に、箱へ収納します。



締め付けリング・モーター軸キャップ・羽根キャップ

モーター軸に、締め付けリング、モーター軸キャップ、羽根キャップを取り付ける



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

症 状	確認してください	処置の方法	参照ページ
電源ボタンを押しても運転されない	電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか？	電源プラグをコンセントに確実にさし込んでください。	9
リモコンで動作しない（ときどき動作しない）	距離が遠すぎませんか？	受信範囲で操作してください。	6
	電池が消耗していませんか？	電池を交換してください。	6
	電池の入れかた（  の方向）が間違っていないですか？	電池を正しく入れ直してください。	6
	インバーター照明器具や電子瞬時点灯照明器具など、または直射日光など、強い光が当たる場所で使用していませんか？	向きや位置を変えてください。	6
運転中の音が異常に大きい	羽根はしっかりと取り付けられていますか？	羽根をしっかりと取り付けてください。	7・8
	ガードはしっかりと取り付けられていますか？	ガードをしっかりと取り付けてください。	7・8
	羽根にゴミが付着していませんか？	羽根のお手入れをしてください。	14
リズム風や首振り運転中などの音が気になる	モーターや首振りモーター、風量が切り替わる時に運転音が聞こえる場合があります。	異常ではありません。	—
風量が増えるときの回転音が気になる	風量が一時的に強まるとき、モーターから「ウィーン」、「ウォーン」と、モーター特有の音が聞こえる場合があります。	異常ではありません。	—
首振りするときの動作音が気になる	首振りモーター特有の音で、「カタカタ」、「コトコト」という音が一時的に強まることがあります。	異常ではありません。	—
首振りの向きが左右どちらかに傾いている	風向調節をしていませんか？	正面に直してください。正面を中心に左右に約18°調節できます。	13
自動で運転停止した	切タイマーを設定しませんでしたか？	切タイマーを設定すると、設定時間経過後、自動的に運転を停止します。	12
操作部やその周囲が熱い	ボタン操作やランプの表示は正常ですか？	異常ではありません。内部の基板の消費電力の熱量の影響です。	9
羽根・ガード・ベースなどに小さいキズがある	全数組み立てて運転確認をしているため、多少キズがつく場合があります。	異常ではありません。	—

点検後、異常がある場合は、ご自分で修理しないでお買上げの販売店、または株式会社ヤマダ電機「お客様相談室」にご相談ください。詳しくは、18ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

仕様

品名	ACリビング扇風機			
品番	YFA-R82G2	羽根枚数	羽根(大):5枚／羽根(小):5枚	
電源	交流 100V	羽根径	羽根(大):30cm／羽根(小):15cm	
消費電力 ^{*1}	周波数50/60 Hz	27W/32W	質量	約 3.0 kg
風速 ^{*1}		180m/min	首振り角度	左右約 45 度
風量 ^{*1}		36m³/min	コードの長さ	約 1.6 m
外形寸法	幅 360 × 奥行 350 × 高さ 870 mm (高さ調節範囲：675 ～ 870 mm)			
付属品	リモコン・リモコンホルダー・リチウム電池 CR2025(動作確認用)			

- *1：風量「強」、首振り運転時の値です。
- 運転停止時の本体消費電力は約 1.0 W です。
 - 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
 - この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	【製造年】 本体に西暦 4 桁で表示してあります
	【設計上の標準使用期間】 6 年
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

● 標準的な使用条件 日本工業規格 (JIS C9921-1) による

環境条件	電圧	AC 100 V
	周波数	50/60 Hz
	温度	30 ℃
	湿度	65 %
	設置条件	本書に基づく組み立ておよび設置
負荷条件	本製品の最大定格で運転	
想定時間	1日あたりの使用時間	8h/日
	1日使用回数	5回/日
	1年間の使用日数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%
注記 環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。		

● 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

愛情点検 長年ご使用のACリビング扇風機の点検を！

	こんな症状はありませんか	● 本体が変形したり、異常に熱い。 ● 電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。 ● 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ● 電源プラグや電源コードを動かすと運転したり、しなかったりする。 ● 異常なおいや音、振動がする。 ● ビリビリと電気をを感じる。	こんなときは	使用を中止してください。 故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買上げの販売店に点検をご相談ください。
	こんなことはありませんか	電源プラグにホコリやゴミがたまっている。		ホコリやゴミを取り除いてください。

修理サービスについて

(1) 保証書

- この製品には、保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。保証期間は、お買上げ日より本体 1 年間です。

(2) 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください。）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときはお買上げの販売店または株式会社ヤマダ電機「お客様相談室」にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3) 補修用性能部品の保有期間

このACリビング扇風機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後6年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについてご不明な場合

- 修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダ電機「お客様相談室」にお問い合わせください。
- ご転居やご贈答品等でお困りの場合は、株式会社ヤマダ電機「お客様相談室」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダ電機

お客様相談室や保証書におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様相談室でお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダ電機および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。その場合も当社と同等の個人情報保護を行わせますので、ご了承ください。